



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月13日

上場会社名 株式会社ありがとうサービス

上場取引所 東

コード番号 3177

URL <http://www.arigatou-s.com>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)井本 雅之

問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長

(氏名)平川 俊之

(TEL) (0898)23-2243

四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	6,151	11.1	391	38.3	393	40.9	222	55.4
27年2月期第3四半期	5,534	1.8	283	2.2	279	4.9	143	9.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	235.47	—
27年2月期第3四半期	150.96	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	3,882	1,652	42.6
27年2月期	3,839	1,504	39.2

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 1,652百万円 27年2月期 1,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	82.00	82.00
28年2月期	—	0.00	—		
28年2月期(予想)				88.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	6.1	511	3.1	496	0.7	260	1.0	276.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年2月期3Q	953,600株	27年2月期	953,600株
28年2月期3Q	8,972株	27年2月期	8,799株
28年2月期3Q	944,760株	27年2月期3Q	948,165株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における国内経済は、追加金融緩和に伴う円安・株高、緊急経済対策などの財政支援、さらには昨年度からの原油安の恩恵を受け、当年度においても緩やかな景気回復基調が続いております。しかしながら、中国経済の減速等海外経済の影響の懸念などにより、先行き不透明な状況は今なお継続しております。

こうした状況のもとで、当社におきましては、人材の育成と既存店のさらなる強化、さらには内部体制の充実に努めてまいりました。

当第3四半期累計期間は、3月にモスバーガー高知大橋通り店（高知県）を閉店しました。6月にはハードオフ/オフハウス大洲店、ブックオフ/ホビーオフ東大洲店（愛媛県）がブックオフ/ハードオフ/ホビーオフ大洲店、オフハウス東大洲店としてリニューアルオープンしたほか、一番亭西条店（愛媛県）を閉店しました。また、7月にはマンマ・グラツェ西条店（愛媛県）、ハードオフ/オフハウスライフガーデン鳥栖店（佐賀県）を出店しました。10月にはブックオフ久留米インター店（福岡県）がブックオフ楽市街道くるめ店としてリニューアルオープンしたほか、11月にハードオフ/オフハウスゆめモール筑後店（福岡県）を計画通り出店しました。

この結果、当社の店舗数はリユース事業84店舗、フードサービス事業33店舗、合計117店舗となりました。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高6,151,446千円（対前年同四半期比11.1%増）、営業利益391,651千円（同38.3%増）、経常利益393,895千円（同40.9%増）、四半期純利益222,466千円（同55.4%増）と増収増益となりました。

セグメントごとの業績を示すと次のとおりであります。

（リユース事業）

当第3四半期累計期間におきましては、物流センター3拠点を本格的に移動させ、これまで廃棄物として処分していた商品を、ニーズのある東南アジアへの輸出販売を行える体制を確立することで、これまで以上に積極的な買取りを行い、どんなものでも買い取って引き取ってもらえるという店舗の信用力、ブランド力の向上及び良品在庫の増大に努めてまいりました。また、買い取った商品を即座に売場に出して機会損失を減らすとともに、お客様目線での売場づくりを進め、売上高の増大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高4,316,019千円（対前年同四半期比14.0%増）、セグメント利益（営業利益）515,488千円（同26.9%増）となりました。

（フードサービス事業）

当第3四半期累計期間におきましては、フランチャイジー事業においては本部主導の販売促進活動の理解と徹底、オリジナルブランド事業においては原材料費の高騰に対応すべく仕入先の見直しや原価率の管理に努め、その影響を最小限に食い止める努力を重ねてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,835,426千円（対前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益（営業利益）94,462千円（同27.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて99,131千円減少し、1,673,554千円となりました。現金及び預金が228,459千円減少、売掛金が53,815千円増加、商品が73,508千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は、前事業年度末に比べて143,016千円増加し、2,206,931千円となりました。有形固定資産が90,152千円増加、投資その他の資産が53,989千円増加したことが主な要因であります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて42,680千円増加し、3,882,386千円となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて183,372千円減少し、849,814千円となりました。買掛金が25,437千円増加したものの、1年内返済予定の社債が54,000千円減少、未払法人税等が86,500千円減少、その他が71,157千円減少したことが主な要因であります。

固定負債は、前事業年度末に比べて77,651千円増加し、1,379,683千円となりました。社債が66,000千円減少したものの、長期借入金が106,393千円増加、資産除去債務が21,846千円増加したことが主な要因であります。

この結果、負債は、前事業年度末に比べて105,720千円減少し、2,229,497千円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて148,400千円増加し、1,652,888千円となりました。利益剰余金が144,992千円増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月14日に公表しました「平成27年2月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の数値に変更はありません。また、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	658,402	429,942
売掛金	53,467	107,282
商品	900,205	973,713
貯蔵品	4,132	5,329
その他	157,315	158,677
貸倒引当金	△837	△1,392
流動資産合計	1,772,686	1,673,554
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	988,016	1,028,907
その他(純額)	354,198	403,460
有形固定資産合計	1,342,215	1,432,367
無形固定資産	11,583	10,459
投資その他の資産		
差入保証金	443,948	479,614
その他	271,109	289,761
貸倒引当金	△4,942	△5,271
投資その他の資産合計	710,115	764,105
固定資産合計	2,063,914	2,206,931
繰延資産	3,105	1,900
資産合計	3,839,706	3,882,386
負債の部		
流動負債		
買掛金	85,509	110,946
1年内返済予定の長期借入金	260,744	263,592
1年内償還予定の社債	120,000	66,000
未払法人税等	150,455	63,955
その他	416,477	345,320
流動負債合計	1,033,186	849,814
固定負債		
社債	281,000	215,000
長期借入金	402,206	508,599
退職給付引当金	2,280	2,728
役員退職慰労引当金	44,458	53,552
資産除去債務	378,030	399,877
その他	194,056	199,926
固定負債合計	1,302,031	1,379,683
負債合計	2,335,218	2,229,497

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,507	547,507
資本剰余金	63,507	63,507
利益剰余金	900,616	1,045,608
自己株式	△17,041	△17,531
株主資本合計	1,494,589	1,639,092
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,898	13,796
評価・換算差額等合計	9,898	13,796
純資産合計	1,504,487	1,652,888
負債純資産合計	3,839,706	3,882,386

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	5,534,791	6,151,446
売上原価	1,820,790	2,065,458
売上総利益	3,714,000	4,085,987
販売費及び一般管理費	3,430,818	3,694,335
営業利益	283,182	391,651
営業外収益		
受取利息	681	620
受取配当金	657	732
不動産賃貸料	22,836	19,450
その他	19,382	20,695
営業外収益合計	43,557	41,499
営業外費用		
支払利息	14,427	12,033
社債利息	3,770	2,542
不動産賃貸原価	25,373	22,313
その他	3,696	2,366
営業外費用合計	47,266	39,255
経常利益	279,473	393,895
特別利益		
固定資産売却益	119	-
特別利益合計	119	-
特別損失		
固定資産売却損	694	-
固定資産除却損	1,183	5,741
減損損失	103	11,212
特別損失合計	1,981	16,954
税引前四半期純利益	277,611	376,941
法人税、住民税及び事業税	136,500	151,259
法人税等調整額	△2,026	3,216
法人税等合計	134,473	154,475
四半期純利益	143,138	222,466

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月29日 定時株主総会	普通株式	71,502	75	平成26年2月28日	平成26年5月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月28日 定時株主総会	普通株式	77,473	82	平成27年2月28日	平成27年5月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,785,734	1,749,057	5,534,791	—	5,534,791
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,785,734	1,749,057	5,534,791	—	5,534,791
セグメント利益	406,309	73,910	480,219	△197,036	283,182

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	リユース事業	フードサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,316,019	1,835,426	6,151,446	—	6,151,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,316,019	1,835,426	6,151,446	—	6,151,446
セグメント利益	515,488	94,462	609,950	△218,299	391,651

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期累計期間において「リユース事業」セグメントにおいて1,276千円および「フードサービス事業」セグメントにおいて9,936千円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。